

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 6 No 12

6 5 号

平成10年12月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

今年を振り返って '98

院長

さて今年も、もう残り少なくなりました。年の瀬にあたって、今年を振り返ってみたいと思います。今年はどうな年だったでしょうか。皆さんは、よい年、悪い年、それとも普通？。人生には上り坂と下り坂、そしてもう一つまさか（ま坂）というのがあると、誰かが言っていました。

まずクリニックにとっては、どんな年だったのでしょうか。相変わらず混雑し待ち時間が長かったり（もちろん暇なときもたくさんあります）と、あまり変わったことはありませんでした。以前から時々クレームがあった、スタッフの対応はいかがだったでしょうか。最近投書（もちろんお叱りのです）が無いので、少しは改善したかと、内心ほっとしています。クリニックにとっての一番大きな出来事は、何と言っても「お母さんクラブ」の発足でした。御承知の方もいるかと思いますが、開業2年目あたりには「お母さんの勉強会」を開催していました。しかしとクリニックだけの主催なので、なかなか開催できずに心残りでした。しかし多大なるお母さん達のサポートによって、やっと今年「お母さんクラブ」の発足に漕ぎ着け、現在活動しています。現在会員数は80名を越え、今まで6回行われました。参加者は、20～40名と順調に開催されています。役員（？）の皆さんの努力により、お母さん達の企画だけの会合も開かれるようになりました。今月には、「クリスマス会」を予定しています。先日の打ち合わせでは小生も圧倒されるくらい、お母さん達は輝いていました。本当にありがとうございます。この場を借りて、お礼したいと思います。まだまだ問題もあります。仕事をしているお母さん方は、なかなか参加できない状況です。今回の「クリスマス会」は、会員以外でも参加できるようにしています。これから日時、曜日を考えて、なるべく多くの患者さんに参加してもらえようようにしていきたいと思っています。

次は、何度も書かれてうんざりという方もいると思いますが、ホームページの話です。平成8年1月に開設し、もうすぐ3年になります。先月号にも掲載しましたが、様々な方

面で“インターネットを使った医療相談者として知られる小児科医、かわむら先生のホームページ。ネット上にホームドクターを持つ感覚で、子供の健康相談に乗ってもらえる。小児科ミニ知識も情報量が豊富。”や“開設2年半の老舗ページ。

「小児科ミニ知識」には子どもがかりやすい病気について簡潔にまとめてある。「CLINIC NEWS」も読みごたえあり。”などと評価されてきました。『発掘あるある大事典』で紹介されたことは、皆さん御承知のことと思います。全国版のマスコミの力はすごいもので、放送終了後1時間ぐらいで、100件を超えるアクセスがありました。その後嬉しい悲鳴というか、医療相談の数も増え、少々困惑（ぜいたくなことかもしれません）気味です。

クリニックニュースも、欠号もなく順調に続けられています。同じように朝日ウイルの小児科ミニ知識も、続いています。これも読んでくれているお母さん達の応援のたまものと考えています。

小生の出しゃばりの性格が功を奏して（災いしてか？）、次々に仕事や役職が舞い込んで来ます。宮城県小児科医会理事、仙台小児科医会理事、宮城県保険医協会理事、仙台オープン病院小児科幹事、仙台市医師会医療情報整備委員会、宮城県教育委員会などの役職があり、他に勉強会や講演会などで、平日の半分以上はふさがってしまいます。そのため夜間の患者さんへの対応ができないことが、毎年の反省です。この解決はなかなか難しいところです。

全体を振り返ってみると、今年はいい年だったと感じています。皆さんも、この記事をきっかけにして、この1年を振り返ってみて下さい。そしてお互い感じたことをパネにして、来年へ飛んでみようではありませんか。ちなみに来年は兎年、小生は年男です。来年はピョンピョン跳びはねるべきか、少し落ち着きを優先するか、思案中です。



年末年始休暇

12月29日 通常診療

12月30日 休診

12月31日 当番医

9:00～16:00

1月1～4日 休診

御迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひ致します。お知らせ



インフルエンザ情報 No1

11月末に仙台市内で、インフルエンザ・ウィルスが分離されました。A香港型です。高熱の持続、呼吸器症状、消化器症状、関節痛などの典型的な症状です。疑われる場合には、早めの受診を！。特に家族みんなでのう場合には！。予防接種2回目は、2週間程度で受けたほうが懸命かもしれません。今回のワクチンは効果ありそうです。

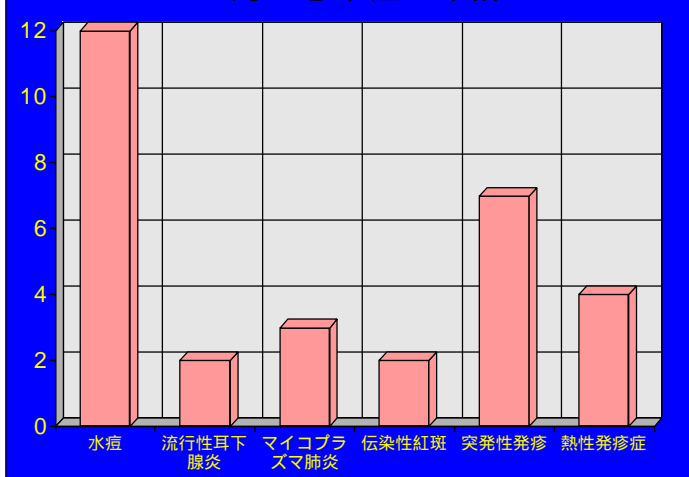
読者の広場

発掘あるある大事典の感想というと、ほとんどのお母さんは“短くて残念でした”と聞かされます。確かに小生も見たときには、“なんだこれだけか”残念な思いでした。どうも期待させすぎた帰来があるので、少し弁解をさせて下さい。自分のコーナーは確かに短いと思いましたが、見直せばその他の紹介の時間はもっと短く、仙台市、かわむらこどもクリニック、院長川村和久先生のテロップが入ったのは小生のコーナーだけでした。ましてインターネットが命を救うという題で始まり、患者さんの再現や小生の再現を合わせると、1分30秒もあり、この番組にの一つの目玉だったのかと勝手に思っています。紹介していなくて、偶然見た患者さん（以前かかっていた引越した）から、電子メールや手紙を頂きました。以前かかりつけだった千葉県の千原さんから頂いたお手紙を紹介します。とても嬉しいことが書いてありました。便せん3枚にもわたるので、一部省略して紹介します。“川村先生、看護婦さん達、お元気でしょうか。大変御無沙汰しております。申し訳ございません。（略）さて昨日フジテレビを見ておりましたら、なんとなんと川村先生の顔が…。もう我家はパニック。「先生だ！先生だ！」子どもも私もうれしくて、うれしくて、「やっぱり川村先生だよ」と崇弘が誇らしげに言っていました。「こんなすばらしい先生に診ていただいていたんだよね」ととてもなつかしく、そしてうれしそうでした。今だからお話ししますが、崇弘が中一の昨年、将来の夢を聞かれた時「小児科の医者」と答えました。成績はさておいて、彼は「僕はとってもすばらしい先生のおかげで、とっても苦しい時助けてもらったから、今度は僕が誰かにしてあげたい」と答えていたんですよ。（略）先生にお話ししようと思いましたが、本人がはずかしいから、ダメという事だったので、今までないしょにしておりました。（略）”子どもがこんなふうにいることを聞かせてもらってありがとうございます。「小生のやっていることが、まんざらでもないのかな」と思わせる手紙でした。こういうことを励みに、また診療にあたりたいと思います。他にも宮城野区の近江さんからも投書をいただきました。ありがとうございました。

当院では吸入器を、喘息やゼーゼーのひどいお子さんに貸し出しています。お気付きの方もいらっしゃると思いますが、吸入器を入れる可愛い袋があります。もう10個近くあるのですが、これは宮城野区の澤田さんのおばあちゃんの手作りです。待合室にも飾ってありますが、小生や看護婦の絵なども入りとても可愛いものです。こんなに一杯、本当にありがとうございます。借りていかれる方も、大切に使う下さい（この写真がその見本です）。



11月の感染症の集計



マイコプラズマ肺炎はありますが、検査で引っ掛からないものも入れれば、もう少し多いかもしれません。水痘がまた、増えてきています。流行性耳下腺炎は、減少傾向です。ここには示していませんが、高熱と下痢嘔吐の風邪も比較的多く、見られています。

第1回 クリスマス会の御案内

日時 12月17日(木)午後2:30~4:00
 場所 福沢市民センター(2階)
 会費 親 300円(非会員500円) 子供1人につき200円
 (会場費、おやつ、プレゼント代込み)

誰でも自由に参加できます。申し込みは10日まで!!

「すこやかさん こんにちわ」放送予定

皆さん御存知のように、院長は、教育委員会の家庭教育充実事業の「すこやかさん こんにちわ」テレビ育児相談の部長をしています。そのスケジュールをお知らせいたします。放送は、

東北放送で午前10:00~10:30です。

上段はメインテーマ、下段はすこやか健康メモです。

12/12(土) お父さん 大好き!

中耳炎

1/9(土) お薬について

下痢

1/23(土) ボクにまかせて!

ひきつけ

院長の担当は、お薬についてです。2月にも子育てQ&Aを担当します。興味のある方は、ご覧になってください。内容についてのパンフレットがあります。希望の方は受付まで。

編集後記

またインフルエンザが流行る、いやな季節になってきました。一般的な注意として、人込みを避け、手洗いや、うがいを励行しましょう。バランスのとれた食事や、十分な睡眠も大切です。それではよいお年を!!

